

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その2)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街					
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	(環境首都・札幌)「さっぽろ地球環境憲章」の策定	-	素案の策定	策定	/	/	策定 (20年度)
1	(世界冬の都市)市長会議参加都市数	29都市 (17年度)	22都市	-	30都市	-	30都市
1	(CO2)エコライフ行動レポートの集計に基づき試算されるCO ₂ 排出削減量	-	4,544t	18,077t	推進	推進	4万t
1	(環境教育)学校におけるエコライフ行動レポートの提出枚数(累計)	-	27,794枚	148,027枚	40万5千枚	54万枚	54万枚
1	環境配慮型事業者への支援プラン策定	-	-	策定	/	/	策定 (20年度)
1	(落葉から環境保全と地域交流事業)参加団体数(南区 累計)	2団体	5団体	10団体	13団体	15団体	15団体
1	(地球に優しいまちづくり)計画期間中の環境活動への参加者数(西区 19年度からの累計)	24,322人	14,293人	30,795人	36,505人	42,165人	36,500人 (H19~22 累計)
1	(環境保全型農業)堆肥の散布量(累計)	-	305.4t	607.2t	900t	1,200t	1,200t
1	(北海道の野生動物復元)オオワシ、シマフクロウの繁殖数	-	-	-	-	3羽	3羽
1	(北海道の野生動物復元)オオワシ、シマフクロウの放鳥数	-	-	-	-	3羽	3羽
1	(円山動物園リニューアル)基本計画の策定	-	素案策定	策定	/	/	策定 (19年度)
2	建築物環境配慮制度に基づく総合環境性能評価の提出件数(累計)	-	20件	72件	200件	300件	300件
2	札幌駅前通熱供給導管ピット整備	事業着手	構築工(杭)	土工	構築工(本体)	復旧工	完成
2	(風力発電)事業主体となる事業者の選定	-	選定	/	/	/	選定 (19年度)
2	(下水熱有効利用)西区民・保健センターにおける二酸化炭素排出削減量	-	前システム比 47t削減	前システム比 約38t削減	前システム比 約50t削減	同左	システム導入前 に比べ50t削減
2	(太陽光発電等設置)学校への新エネルギー設備導入件数(累計)	7件	8件	9件	10件	/	10件
2	(次世代エネルギーパーク)構想を受けた整備計画の策定	-	構想策定	計画策定	民間参画手法等の検討	実施設計・施設整備着手	策定 (20年度)
2	協働による市内1,000kW規模の太陽光発電所の設置(上記のうち市有施設への率先導入)(累計)	-	-	-	-	1箇所	1箇所
2	(ecoプロ)新エネルギー設備等の新規融資額	-	6百万円	1.6億円	5.5億円	5.5億円	10億円
2	(公共施設省・新エネ導入)指針に基づく省エネ・新エネ導入検討施設数(累計)	-	1カ所	86カ所	86カ所	86カ所	4カ所
3	(札幌市一般廃棄物処理基本)計画の改定	-	改定	推進	推進	推進	改定 (19年度)
3	(家庭用)廃食油回収拠点数	43カ所	71カ所	192カ所	230カ所	240カ所	200カ所
3	(家庭用)廃食油回収量	1,200 /月	2,500 /月	3,500 /月	4,500 /月	4,700 /月	7,000 /月
3	「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数	7,049人	8,252人	11,343人	15,000人	20,000人	20,000人
3	(定山溪地区生ごみ堆肥化推進事業)参加事業者の生ごみ分別量	1.6t/日	1.9t/日	1.8t/日	1.8t/日	1.8t/日	3.2t/日
3	リユース広場(リユースプラザ)で市民に提供した家具等の個数	965個 (白石)	1,023個 (白石)	2,071個 (白石、厚別)	2,100個 (厚別)	2,200個 (厚別)	1,200個
3	(中規模事業所)ごみ減量・処理報告書の提出義務付け対象拡大	-	検討	実施	指導開始	指導継続	実施 (19年度)
3	(紙、プラスチック類、草木類廃棄物)排出状況調査	-	-	一部実施	実施	/	実施 (20年度)
3	(焼却灰のセメント原料への再利用)事業実現性評価	-	-	実施	実施	実施	実施

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築
主 な 取 組 内 容		
施策1	環境行動を実践する人と街づくり	
19年度(実績)		20年度(実績)
<p>「環境首都・札幌」宣言市民会議を設置し、素案を作成 グリーンランドの首都ヌーク市で開かれた第13回世界冬の都市市長会議に会長都市として参加し、地球温暖化対策等について協議 さっぽろエコ市民運動、エコドライブコンテスト、環境情報誌「えこぼろ」発行等の各種啓発事業を実施 環境教育プログラム策定、小学生向け環境副教材改定等事業者の環境配慮活動を評価する環境活動評価基準案を検討し、アンケート調査実施 落葉から堆肥への利用促進を図る落葉集積・配布及び堆肥化公園(5ヶ所)、落葉堆肥化の講習会等実施(5回)(南区) キャンドルナイトin琴似二十四軒(779名)、こども環境活動発表会(200名)の実施等(西区) 環境保全型農業支援事業として、家畜排泄物を原料とする堆肥を農家に散布(5戸、305.4t) 円山動物園で、現在飼育する猛禽類の保護小屋を設置(2棟)、エゾシカ・オオカミ舎完成等</p>		<p>「環境首都・札幌」を宣言し市民意識を喚起するとともに、市民式典を開催し本市の姿勢を世界に向け発信した。 カナダで開催された2008年実務者会議に参加し、環境問題小委員会を開催し、各都市の環境問題について協議した。 さっぽろエコ市民運動、エコドライブコンテスト、環境情報誌「えこぼろ」発行等の各種啓発事業を実施 環境教育校外学習用バス貸出(115台)、環境教育リーダーの追加養成(9名)、こども環境コンテストの開催等 環境配慮型事業者評価・登録制度を構築、運用開始 落葉集積・配布及び堆肥化公園等(8箇所)、講習会等(8回)(南区) ようこそ北海道洞爺湖サミットへ「エコまち西区deリレーイベント」(4事業、2176名)の実施等(西区) 環境保全型農業支援事業として、堆肥の散布(新規5戸301.8t、延べ10戸907.2t)、新技術現地試験圃場の設置 円山動物園で繁殖小屋(2棟)、リハビリゲージ等の建設工事設計、園内ビオトープエリア造成、熱帯植物園解体</p>
21年度(予定)		22年度(予定)
<p>環境首都札幌推進協議会を開催 エストニア・マールドゥ市で開催予定の第14回世界冬の都市市長会議に参加し、地球温暖化問題等について協議等引き続き、さっぽろエコ市民運動、エコドライブコンテスト、環境情報誌「えこぼろ」発行等の各種啓発事業を実施 環境教育校外学習用バス貸出(155台)、小中学校への環境教育教材の寄贈(29校)、こども環境コンテストの開催等 環境配慮型事業者登録制度「さっぽろエコメンバー」の定着を図るための支援策の検討等 落葉集積・配布及び堆肥化公園等(5ヶ所)、講習会等実施(南区) 「ごみダイエット・キャンペーン」、環境活動実践ゲーム作成等(西区) 環境保全型農業支援事業として、堆肥の散布(新規5戸300t、延べ15戸907.3t)、新技術現地試験圃場の設置 円山動物園で繁殖小屋(2棟)、リハビリゲージ等を建設、エゾヒグマ館建設、新は虫類館新築工事実施設計等</p>		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街	
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築	
主 な 取 組 内 容			
施策2 省エネルギー、新エネルギーの普及促進			
19年度(実績)		20年度(実績)	
<p>建築物環境配慮制度の導入、運用開始(届出数20件) 都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助として、札幌駅前熱供給導管ピット等の整備に対する補助実施 風力発電事業者を公募、決定。事業者による事前調査等の実施。 下水熱有効利用モデル事業として、システム完成。下水熱の暖房利用実証試験を開始。 太陽光発電等設置モデル事業として、前田中央小学校へ太陽光発電設置(5kW) 札幌市次世代エネルギーパーク事業の構想策定(検討委員会4回実施) メガワットソーラー共同利用モデル検討事業の基礎調査実施(検討委員会実施) 札幌・エネルギーecoプロジェクト発足、新支援制度(融資・補助)構築 公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進事業として、公共施設への省エネ・新エネ導入指針策定</p>		<p>建築物環境配慮制度の運用、普及啓発等(届出数52件) 都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助として、札幌駅前熱供給導管ピット等整備への補助を実施 風力発電事業実施に向け、事業者や関連機関との調整を進め、事業者が北電の風力発電募集に応募 下水熱有効利用モデル事業として実証事業により効果・課題等の検証を行うとともに、信頼性・維持管理向上のため設備改良を行った。 太陽光発電等設置モデル事業として、北郷小学校に太陽光発電設備(10kW)を設置 札幌市次世代エネルギーパーク事業の基本計画を策定 メガワットソーラー共同利用モデル事業の実施に向けて「札幌・サンサンプロジェクト事業」計画を策定 札幌・エネルギーecoプロジェクトによる新規の融資・補助を募集し、847件の支援を行った。 公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進事業として、「札幌市公共施設における省エネルギーの推進及び新エネルギーの導入要綱」を制定</p>	
21年度(予定)		22年度(予定)	
<p>建築物環境配慮制度の運用、普及啓発等 都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助として、札幌駅前熱供給導管ピット等整備への補助実施 風力発電事業実施に向けた事業者・関連機関との調整 下水熱有効利用モデル事業として、実証事業を継続 太陽光発電等設置モデル事業として、常盤小学校に太陽光発電設備(10kW)を設置 札幌市次世代エネルギーパーク事業における、民間参画の手法を検討 メガワットソーラー共同利用モデル事業として、「札幌・サンサンプロジェクト事業」計画に基づき、市役所本庁舎に太陽光発電設備を設置(10kW) 札幌・エネルギーecoプロジェクト事業による新規の融資・補助を募集 公共施設における省エネ・新エネ導入体系事業として、「要綱」の運用を行い、省エネ・新エネ導入を促進 木質バイオ燃料の活用による地球温暖化の防止及び環境産業の育成に向けた調査を行う。</p>			

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街				
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築				
主 な 取 組 内 容						
施策3	みんなで進めるごみ減量、リサイクル					
19年度(実績)			20年度(実績)			
<p>「スリムシティさっぽろ計画」素案を公表し、3カ月間のパブリックコメントや223回開催した市民意見交換会などで延べ8,367人の参加を得て、3,848人から意見が寄せられ、この意見を踏まえ計画を変更・追加し、平成20年3月に計画を策定した。</p> <p>「さっぽろスリムネット」の平成19年度事業への参加者数は延べ9,889名に上った。また、ごみ収集車7台などへのBDF使用を開始するなど、各プロジェクトにおいて、ごみ減量事業を展開した。</p> <p>4回の協議会を実施し、延べ73名の市民・事業者の参加を得て、地域合意の基に「定山溪地域バイオマスタウン構想」を策定した。定山溪地区の生ごみ597tが堆肥化され、これを同地区の7軒の農家が活用して農作物を生産した。生産した農作物は、同地区で開催する「エコ収穫祭(来場者811名)」で市民に提供され、7つのホテル等において食材として活用された。</p>			<p>「スリムシティさっぽろ計画」を新ごみルール説明会などで周知するとともに、この計画で掲げたごみ減量・リサイクル施策の実施に向けて、「雑がみ」のモデル実験事業や生ごみリサイクルパートナーシップモデル事業を行い、地区リサイクルセンターを設置し、共同住宅のごみステーション対策強化などを行った。</p> <p>「さっぽろスリムネット」会員である市民・事業者の意見に基づき、各プロジェクトにおいて、様々なごみ減量実践活動を展開し、延べ参加者数は11,343名に上った。</p> <p>廃食油回収拠点を192か所に拡大するとともに、廃食油リサイクルについてチラシ・のぼりの作成配布を行った。</p> <p>生ごみ堆肥の活用拡大に向け、農業試験場に生ごみ堆肥の試験を委託し効果が確認できた。</p> <p>厚別清掃工場跡地に新たに「リユースプラザ」を整備した。中規模事業所へのごみ分別・リサイクル指導を推進するため、データベースシステムを構築し、分別ガイドを作成した。</p>			
21年度(予定)			22年度(予定)			
<p>スリムシティさっぽろ計画推進</p> <p>家庭ごみの有料化、雑がみ及び枝・葉・草の分別収集開始などの新たなごみルールを7月から実施し、ごみ減量・リサイクルをさらに推進していく。町内会などが自主的に収集した生ごみを資源化施設で堆肥化する生ごみリサイクル・パートナーシップ事業を行う。共同住宅の排出マナー改善に重きを置いたごみステーションに関する制度変更を周知徹底する。ごみステーション管理支援事業として、7月からの家庭ごみ有料化に備え、20年10月に発足した「さっぽろごみパト隊」を本格的に配置する。</p> <p>「さっぽろスリムネット」各プロジェクトにおいて、様々なごみ減量実践活動を展開していく。</p> <p>廃食油回収拠点をさらに拡大するとともに、廃食油リサイクルについて普及啓発を行っていく。</p> <p>農家・農協・堆肥化事業者で構成する札幌市バイオマスタウン推進協議会を設立し、定山溪地域バイオマスタウン構想を推進する。</p> <p>中規模事業所へのごみ分別・リサイクル指導を推進するため事業ごみ指導員を配置する。</p>						
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(実績)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
該当なし						

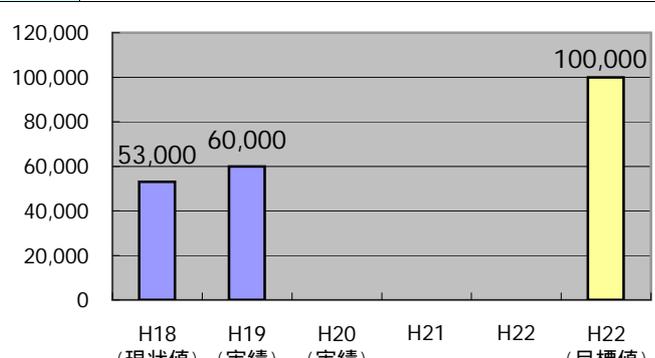
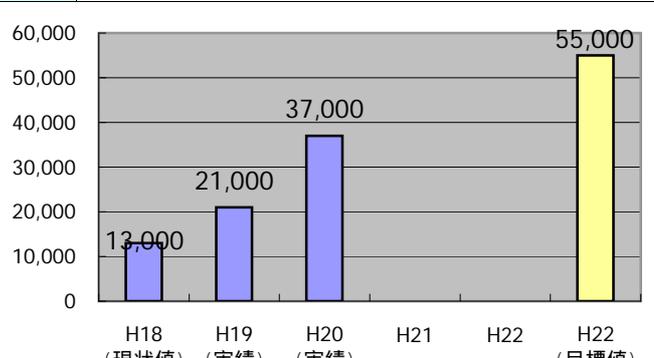
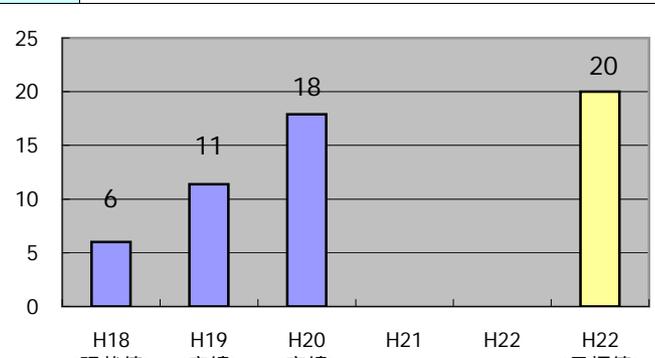
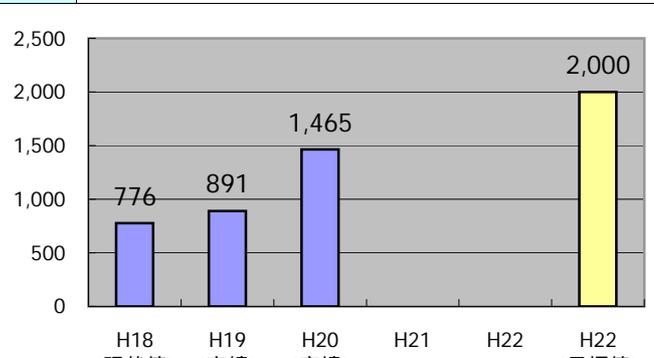
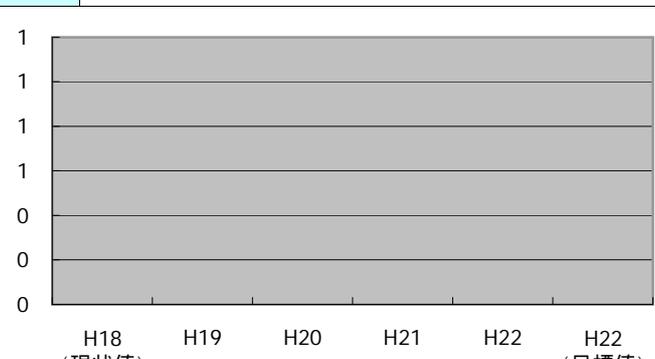
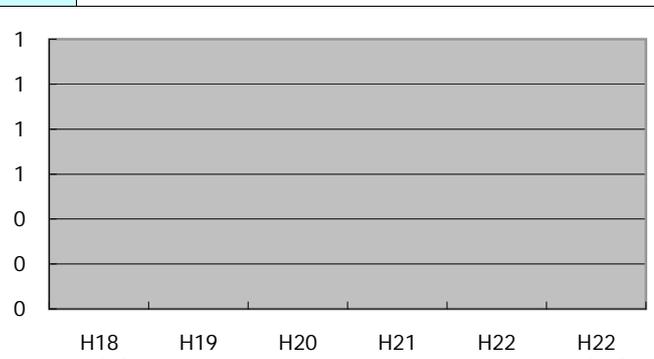
平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築
評価(成果)		課題
施策1 環境行動を実践する人と街づくり		
<p>・「さっぽろ地球環境憲章」等を作成し、市民の環境意識を喚起するとともに世界に向け発信した。また、冬の都市市長会での取組は本市の環境問題への積極姿勢のPRにつながり、市民の環境意識を高める一助となっている。</p> <p>・「さっぽろエコ市民運動」等、エコ行動の実践を促すための事業を体系的に進めた。また、企業と連携して環境教育バスツアーを実施した。</p> <p>・事業者の環境配慮活動を促すための誘導策として、「さっぽろエコメンバー」制度を構築し、運用を開始した。</p> <p>・地球に優しいまちづくり支援事業(西区)では、環境活動を通じた市民参加の促進を図った。落葉から環境保全と地域交流事業(南区)では、花壇作りを通じ地域内・世代間交流が活性化し、落葉処理費用削減にもつながった。円山動物園のエゾシカ・オオカミ舎では、食物連鎖を通じた身近な環境問題についての普及啓発が可能となった。</p>	<p>・市民へ「さっぽろ地球環境憲章」等を浸透させ、環境行動の定着につなげていく必要がある。また、冬の都市市長会では活動のPRを通じて地球温暖化問題等に取り組む本会への市民の関心をさらに高める必要がある。</p> <p>・学校や市民団体、及び環境教育関連施設等との連携を強化し、環境保全活動の推進につなげる必要がある。</p> <p>・「さっぽろエコメンバー」を定着・拡充を図るとともに、さらなる事業者支援策を検討・実施する必要がある。</p> <p>・地域に優しいまちづくり支援事業(西区)では、さらに自主的・継続的な活動へと発展させていく必要がある。また、落葉から環境保全と地域交流事業(南区)では、安価で耐久性のある施設の改良が必要となっている。</p> <p>・円山動物園では、今後必要な施設建設等に向け、企業等との協働を視野に入れた予算計画の検討や、新施設を活用した環境教育・レクリエーションプログラムの検討が必要である。</p>	
施策2 省エネルギー、新エネルギーの普及促進		
<p>・計画事業はほぼ予定どおり進捗しており、その結果、市民・事業者の省エネルギーや新エネルギーの普及が促進し、目標に向けて順調にCO2削減が進んでいる。</p> <p>・風力発電、次世代エネルギーパーク、公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進の各事業は平成20年度で目標を達成、太陽光発電等設置モデル事業も平成21年度で目標達成予定である。</p> <p>・メガワットソーラー共同利用モデル検討事業は、「札幌・サンサンプロジェクト」計画とそとの市の率先導入計画を策定し、具体的取り組みを開始した。</p> <p>・札幌・エネルギーecoプロジェクトは、事業者・金融機関と共同して、省エネルギー・新エネルギー機器導入を支援する融資・補助制度を創設、その普及促進を図り、想定どおりCO2を削減した。</p>	<p>・省エネルギー、新エネルギー機器のさらなる普及促進のために、支援制度の拡充や市民要望を踏まえた制度の見直しなどが必要である。</p> <p>・公共施設への率先導入は、市民・事業者を含めた市全体の省エネルギー、新エネルギー普及促進に向けた重要な取り組みのひとつであることから、より効果的な事業実施を図るため、財源の確保とともに事業手法についても検討を進める必要がある。</p> <p>・すでに目標を達成している事業や達成が予定されている事業についても、さらなる事業推進のために、今後は関係機関との調整や事業手法の検討が求められる。</p>	
施策3 みんなで進めるごみ減量、リサイクル		
<p>・「スリムシティさっぽろ計画」(平成20年度策定)の普及啓発を新ごみルール説明会などで行った。各種資源物のまとめ出しができる地区リサイクルセンターを2箇所開設した。ごみステーション管理器材の購入助成を行った。生ごみリサイクルパートナーシップモデル事業と雑がみ分別収集モデル実験事業を行った。各清掃事務所に「さっぽろごみパト隊」を配置した。</p> <p>・廃食油回収拠点を192カ所に拡大し平成20年度には41,312回収することができた。</p> <p>・「さっぽろスリムネット」が平成20年度に実施した事業への参加者数は延べ11,343名に上った。</p> <p>・「定山溪地域バイオマスタウン構想」を策定、平成20年度は生ごみ570トンを堆肥化、同地域の農家が活用し作物を生産、イベントで提供されたほか、ホテル等で活用された。生ごみ堆肥化施設は平成22年度に民設民営により整備予定。</p>	<p>・「スリムシティさっぽろ計画」で掲げた施策を円滑に実施するため、適切な進行管理を実施していかなければならない。特に、計画目標を達成するため、家庭ごみ有料化などの新ごみルールについて引き続きルールの周知に努め、より一層の理解や協力を得ていく必要がある。</p> <p>・廃食油の回収量を増やすためには、市民へのPRの強化とともに、廃食油の回収にかかる市民の利便性を高めるため回収拠点を拡大することが必要である。</p> <p>・地区内での食循環ネットワーク確立のため、生ごみ堆肥の活用拡大に向けた調査・検討、生ごみ堆肥を活用した農産物の市民への普及啓発が必要となる。</p>	
今後の重点取組		
<p>・本市では、市民生活と関わりの深い民生(家庭・業務)及び運輸部門からのCO₂排出量が全排出量の大部分を占めていることから、市民一人一人に対し環境行動の定着を図ることが非常に重要である。今後、さらに学校、企業、市民団体等との連携を深めながら「さっぽろエコ市民運動」をはじめとする各種啓発事業を実施することにより、市民、事業者等による環境行動の取組の環を広げ、「環境首都・札幌」の実現を目指していく。</p> <p>・市民、事業者向けの省エネルギー・新エネルギー機器のさらなる普及促進のために、支援制度の拡充や制度の見直しを行う。また、普及を加速するために、市民にわかりやすい情報提供を行う。</p> <p>・市民・事業者と情報を共有し、協働してごみ減量・リサイクルの推進に努め、「スリムシティさっぽろ計画」に掲げた施策を確実に実施していく。特に7月からの家庭ごみ有料化などの新ごみルールについて、より市民の理解や協力を得るため、引き続き周知に努めていく。</p>		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その7)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築

成果指標等の動向

<p>項目1 市民の省エネ・省資源行動指標(省エネ・省資源を実践したことによるCO2削減量)(単位:t)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>削減量(t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>53,000</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>100,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	削減量(t)	H18 (現状値)	53,000	H19 (実績)	60,000	H20 (実績)		H21 (実績)		H22 (目標値)	100,000	<p>項目2 市内における新エネルギー・省エネルギー機器導入によるCO2削減量(単位:t)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>削減量(t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>13,000</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>21,000</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>37,000</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>55,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	削減量(t)	H18 (現状値)	13,000	H19 (実績)	21,000	H20 (実績)	37,000	H21 (実績)		H22 (目標値)	55,000
年度	削減量(t)																								
H18 (現状値)	53,000																								
H19 (実績)	60,000																								
H20 (実績)																									
H21 (実績)																									
H22 (目標値)	100,000																								
年度	削減量(t)																								
H18 (現状値)	13,000																								
H19 (実績)	21,000																								
H20 (実績)	37,000																								
H21 (実績)																									
H22 (目標値)	55,000																								
<p>項目3 廃棄ごみ量(平成16年度対比)(単位:%減量)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>%減量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	年度	%減量	H18 (現状値)	6	H19 (実績)	11	H20 (実績)	18	H21 (実績)		H22 (目標値)	20	<p>項目4 環境に配慮している事業者数(単位:件)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業者数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>891</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>1,465</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業者数(件)	H18 (現状値)	776	H19 (実績)	891	H20 (実績)	1,465	H21 (実績)		H22 (目標値)	2,000
年度	%減量																								
H18 (現状値)	6																								
H19 (実績)	11																								
H20 (実績)	18																								
H21 (実績)																									
H22 (目標値)	20																								
年度	事業者数(件)																								
H18 (現状値)	776																								
H19 (実績)	891																								
H20 (実績)	1,465																								
H21 (実績)																									
H22 (目標値)	2,000																								
<p>項目5</p> 	<p>項目6</p> 																								

成果指標等から見た重点課題の評価

4つの指標とも、目標値に向け数値を伸ばしており、重点課題の達成に向け概ね順調に推移していると思われる。